

琉球病院 Monthly



独立行政法人
国立病院機構 琉球病院
National Hospital Organization RYUKYU Hospital

Vol.02
2013.February

発行 発行者 琉球病院事務部長

院長

村上優（むらかみ・まさる）
1949年生まれ、
74年九州大学医学部卒業。
86年国立肥前療養所精神科医長。2002国立肥前療養所臨床研究部長、
同年King's College London Institute of Psychiatry（司法精神医学研究所）長期研修。
2005年花巻病院臨床研究部長（併任）を経て、2006年琉球病院院長に就任。
日本司法精神医学会理事、日本アルコール関連問題学会監事 NGOヘルパル会の副会長として活躍。



基本理念

副院長 福治 康秀

この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

琉球病院マンスリー2号をお届けします。当院での診療内容や取り組みについて随時お届けし、連携をさらに深めることができらばと思っております。

さて今回は、当院が今重点的に行っている、治療抵抗性統合失調症を中心とした治療と地域移行への取り組みの紹介をします。統合失調症の方々は、非定形抗精神病薬の登場により、少ない副作用で治療効果を得られる方々が増えています。ただ、一方でなかなか精神症状が改善せず続いている方々がいることも事実です。当院では、そのような方々に、治療抵抗性統合失調症の治療薬であるクロザピンを使用しております。その効果は大きく、なかなか改善しなかった幻覚妄想が軽くなり、情動面も安定してゆく方々を多く経験しております。また、患者さん自身が効果を実感することが多いのもこの薬の特徴だと感じています。なお、副作用への対処は、多職種で速やかに連携するよう心がけております。ところで、症状が軽減しても、なかなか地域へ戻れない方がいることも事実です。当院では、早目に各関連職種が集まりチームでアプローチしてゆくようにしています。訪問看護を中心にR-ACTという多職種チームを立ち上げ、患者さんの支援レベルに応じて、きめ細やかなアプローチを行ってゆくように進めています。それで、再発を防ぐと同時に、悪化の徴候を早目に見つけ、介入してゆきたいと思っております。

診療科

- ・一般精神科
- ・こども心療科
- ・物忘れ外来
- ・アルコール依存症等外来

病床数 406床

- ・精神科病棟 181床
- ・認知症 50床
- ・アルコール 54床
- ・児童思春期ユニット 4床
- ・重症心身障がい児 80床
- ・医療観察法 37床



●アクセス

路線バス／那覇BS(下り)または名護BS(上り)より沖縄バス「77番名護東線」浜田バス停下車徒歩3分
自動車／那覇市から40分
沖縄自動車道金武インターから名護向け5分

トピックス

行事・出来ごと

- 病棟等建替整備の動き
- 進捗状況：基本設計終了（現在実施設計中）
 - 病棟完成予定 平成26年10月
 - 作業療法棟完成予定 平成27年7月
- ミニコンサート 平成25年2月20日（水）14:00～15:00 出演：琉球太鼓を愛する方々
場所：当院作業療法棟 ●メンバーは色々なイベントで琉球芸能の数々を披露している方々です。

教育・研修

- 琉球看護セミナー 平成25年3月14日(木) 18:00～19:00 「認知症看護」 対象:医療・保健・福祉関係機関
趣旨:1年間の看護の振り返りと近隣施設との交流・連携を深めるために行います。
- 行動療法研修会 平成25年3月2日(土) 講師:立命館大学 谷晋二 先生（詳細は裏面参照）
- 沖縄精神神経学会 平成25年2月9日(土) 12:00～17:00 場所:沖縄県医師会館3階ホール(当院から7題発表)

● 地域医療連携室だより

・活動状況 当院では長期入院の患者様の退院促進に取り組んでいます。院内多職種チーム及び地域の支援者、家族と連携し、本人の望む生活ができるように支援を行っています。今後は院内での取り組みをさらに強化し、地域移行・地域定着支援事業も活用していきたいと考えています。

お困りのことがあれば、お気軽に地域医療連携室へご相談ください。

お問い合わせ時間
8:30～17:15(土・日・祝日以外)
TEL:098-968-2133(代)
内線:231・234
FAX:098-968-7370
地域医療連携室直通



空床状況

精神科病棟
7床

認知症
0床

アルコール
10床

児童思春期ユニット
2床

1月20日現在

※ 入院予約に関するお問い合わせは地域医療連携室へご相談下さい。

治療抵抗性精神疾患への医療



クロザピンの治療状況

治療抵抗性統合失調症に対して、平成22年1例目の投与を開始し、全症例は63例となりました。平成24年12月の新規導入は3例で、治療経過も良好です。退院数も19例と増えています。

m-ECTの治療状況

当院では、県立北部病院麻酔科のご協力の下、m-ECTによる治療を行っております。平成24年12月の治療実績は3例であり、各症例とも改善傾向が認められております。

こども心療科

こども心療科とは

当院では地域の関連機関と連携し、外来及び入院を通して発達障がい・情緒障がいを有する子ども・ご家族への専門医療の提供を行っています。

研修会・勉強会の開催について

- *勉強会：小児思春期の精神医療② 小児の統合失調症
【開催日】平成25年2月14日（木）17：30～
【開催場所】琉球病院TV会議室
- *研修会：行動療法研修会 講師：谷晋二先生（立命館大学）
【開催日】平成25年3月2日（土）午前・午後の2部構成
【定員】50名（先着順）◎事前申し込みが必要です。以下のメールにてお申込み下さい。 待合室（こども広場1）
【申し込み・問い合わせ先】kenshu-child@ryu2.hosp.go.jp 心理療法室 野村



認知症医療

役割と診療状況

認知症病棟では、昨年12月「クリスマス会」を行いました。ご家族へ事前にプレゼントの準備をお願いし、サンタクロースに扮したスタッフが、患者さまへ一つ一つプレゼントを配りました。2月には、豆まきなどのイベントを行う予定です。

平均年齢83歳の入院患者様が感染症など併発されないように、この時期は細心の注意を払っています。この時期にしては冷え込みの厳しい中、保温などに注意しケアを行っております。ご自宅での療養や、「施設での対応が厳しい・・・」などのご相談がありましたら、地域連携室までご連絡ください。

また、3月には、「琉球看護セミナー」で、地域における認知症治療病棟のあり方について、当院からの提案などを含めた内容でお話しさせていただきたいと思っております。



アルコール・薬物依存医療

研修会開催について

平成25年1月29日（火）「第9回琉球病院アルコール関連問題地域職員研修会」を開催しました。平成25年度のアルコール研修については後日ご案内します。

アルコール看護のツボ小冊子について

平成21年9月から平成23年9月、アスク「季刊Be!」に連載した「依存症看護のツボ」は琉球病院のアルコール看護をわかりやすく表現したものです。今回、一般の援助者向けに沖縄の個別性、病気や専門治療、早期介入について加え小冊子にしました。

近々発刊する予定です。

包括的地域精神医療（ACT）

当院の訪問看護の範囲は広く、国頭村～那覇市、浦添市等の幅広い地区を訪問しています。長期入院患者の退院直後の生活支援、治療抵抗性を有するクロザピン内服者の内服状況や身体管理の見守りを行い、地域で安定した生活が出来るよう支援をしています。

平成25年1月17日～18日まで、アウトリーチ推進事業研修会が東京都で開催しました。厚労省から委託されている事業所、医療機関は、沖縄県ではありませんが、今後の精神科医療の流れについて情報を取り入れ当院で実践出来る事を取り組みたいと考えています。

穂田祥子作業療法士が参加しました。

臨床研究部の活動状況

【医療現場でおきる暴力とその対策】～司法精神医学研究部より～

医療現場でおきる暴力に対し、「暴力のリスクを評価・予測する、回避する、対応する、ケアする」というプロセスを科学的に理解する取り組みのひとつとして、当院では包括的暴力防止プログラム（CVPPP）を実践しております。これまで院内外の医療者を対象に多くの方に受講されました。また定期的にフォローアップ研修を実施し、その効果が認められつつあります。定期的に講習を行っておりますので、詳しくはホームページをご覧ください。

臨床研究部

